

2018 年度事業報告

1. 事業期間

2018年4月1日～2019年3月31日

2. 事業の概要

今夏、アサヒキャンプは66期として10人の新人カウンセラーを得て総勢20人余のキャンプカウンセラーと4人のキャンプディレクターで、5つの主催（ネイチャキッズ、わんぱく、ファミリー、YAMA、シニア）、1つの共催（のびのび）、4つの協力（森の子、次世代、SORA ウィンター/スプリング）キャンプを実施した。

森の子キャンプの今年のメインはコマづくりと流しそうめん。昨年以上の暑さに見舞われたが、様々な事前準備により体調を崩すものはなかった。

ネイチャキッズキャンプは、2日目午後にはゲリラ豪雨と停電に見舞われたが無事終了した。第2回目のわんぱくキャンプは、参加者大幅増の17名であった。

ファミリーキャンプでは、魚つかみの復活、花をテーマにした夕食会メニューなどで大勢のOBOGと現役生がキャンプを楽しむ事が出来た。

次世代リーダーズキャンプは、昨年アサヒキャンプルネッサンスプロジェクトの一環として朽木で第1回を開催、本年は多徳島の志摩市で開催した。若手企業人にアサヒキャンプ、青少年健全育成活動を広く認知いただき、且つ賛助会員となり支援もいただく事を目的の一つとしている。多徳島でのアサヒキャンプに志摩連合中学招待キャンプにキャンパーとして参加した竹内志摩市長に特別講師として地方創生の取り組みを講演いただいた。

のびのびキャンプは昨年8月後半から10月前半に時期をシフトしたが、今年は同時期に2泊→1泊に短縮して9名のキャンパーで行った。

トレキャン・ワークキャンプと並行して年間を通じて行うYAMAキャンプは5回実施（延べ参加人数25名）した。運営は、64期腹ペコさん、62期ゼブラさん、61期しゃもじさんをお願いした。例年通りクラフトやお菓子作り、川遊びやハイキングなど子どもたちに寄り添うプログラムを行なった。

昨年の次世代リーダーズキャンプでつながった藤樹記念館の富永館長の紹介により、地元高島市の小学校と教育委員会に何度か出向き、主催キャンプへの招待を打診し広報などの協力を依頼したところ、わんぱくキャンプに小学生3名を招待することができた。今後も地元との密接なつながりは継続していきたい。また、辻川理事の紹介によるグーテン子ども食堂から3名、西堀理事の紹介による小鳩の家から3名、OGろんぼうさん勤務の水上隣保館から1名の招待を行った

今年度初より、理事長が畠中氏から石田氏に代わり理事会メンバーが大幅に入れ替わるとともに事業部制の新体制を構築した。現状ではまだ十分に機能しているとは言い難いが、今後の充実を各担当理事には意識していただきたい。会計処理に関しては西堀理事がひきつづき担当し、会費納入に対する領収証送付担当は徳重前理事から松川理事に移行した。

3. 会員数と総会

○会員（2019年3月31日現在）

正会員 92名 賛助会員 158名

○総会 日時：2018年5月20日13時～14時 場所：朝日新聞社大阪本社屋内「ラルゴ」

出席者：正会員32名+委任状出席者（正会員）32名 合計62名

／会員総数92名（2018/3/31時点）

[審議事項]

第1号議案 2017年度事業報告・決算報告について

第2号議案 2018年度理事・監事の選任について

- 第3号議案 定款変更について
- 第4号議案 議事録署名人の選出について

[報告事項]

- ・2018年度事業計画・予算について
- ・組織改編について
- ・アサヒキャンプ65年目のメッセージ発刊について

4. 理事会

○決算理事会

日時：2018年5月20日

場所：大阪市北区 朝日新聞社会議室 出席：14名（内 委任状1名）

第1号議案 2017年度事業報告・決算報告について

第2号議案 2018年度予算修正について

第3号議案 役員の改選について

第4号議案 総会について

第5号議案 決算理事会議事録署名人の選出について

○理事会

日時：2018年10月20日

場所：大阪市中央区 南星ビル9階会議室 出席：12名

第1号議案 2018年度夏季事業報告、会計途中報告、9月30日現在会費状況

第2号議案 2018/2019年度年間スケジュール（案）

第3号議案 定款変更について

第4号議案 議事録署名人の選出

○理事検討会

日時：2019年1月12日

場所：大阪市中央区 南星ビル9階会議室 出席：9名

検討項目1 2018年度会計状況報告

検討項目2 会費状況

検討項目3 今後のアサヒキャンプ事業計画と課題に関して

検討項目4 キャンプ運営委員会に関して

その他

○キャンプ運営委員会

日時：2019年2月23日

場所：大阪市中央区 南星ビル2階会議室 出席：8名+現役カウンセラー3名

検討項目 各キャンプについて、招待について、会費納入について

キャンプ引率について、ファミリーキャンプ参加について、総会について

コスト削減について、マーキーテントの購入について

5. 夏/冬/春キャンプ事業

① 森の子キャンプ「われら夏の思い出づくり隊」（麻生里山センター主催）・協力

8月4日～5日・1泊2日、滋賀県・くつきの森・やまね館

小3～小6・12人（男5人、女7人）（参考；参加費¥5,000__）

組織：現役生 Co.2人 Dir. 2人 St.13人 キャンプ長 XXXXXXXXXX、OBOG St.7人

内容：ねらいは、「今、この場所で、この仲間としか体験できない非常を楽しむ。」 テーマソングは「陽のあたる道」 麻生里山センターの8回目の主催に協力。初日は旗作り、コマ作り、薪割り、飯盒ご飯炊き、カレー作りを体験。初体験の薪割りに苦闘したが、昨年引き続きロケットストーブを使用してカレーはまたたくまに完成。自分たちで炊いた飯盒ご飯とともに夕食会でおいしく食べた。そ

の後は恒例のキャンプファイヤーを楽しみ、自然研修センターでテント泊をした。翌日は、ミニハイキングとコマ回し大会。白熱した戦いで非常に盛り上がった。昼食は流しそうめんを楽しんだ。昨年は体調不良による途中帰宅者がでたが、今年は水分補給の強化、日陰の作成などの対策を行ったため大丈夫であった。

② くつきネイチャーキッズキャンプ「Best Memories」・主催

8月11日～13日・2泊3日、滋賀県・くつきの森・自然研修センター、
小4～中2・10人(男6人、女4人)、(参考；参加費¥18,000_(会員¥15,000_)、安曇川¥16,000_)
組織：現役生 Co. 2人 Dir. 2人 St. 16人

キャンプ長 [REDACTED]、SCD [REDACTED]、SV 中村茂高、GM 竹森大祐、OBOG St. 7人

内容：ねらいは、「①自然の中で過ごし、感じたこと発見したことをみんなと共有できるようにする②みんなの想いを大切に、仲間と協力できるようにする」。テーマソングは「ともだちになるために」例年、冒険家やサバイバルなどの場面設定したキャンプを行ってきたが今年はなし。キャンパーのやりたいこと、希望をG内で調整してプログラムを進めるグループワークを重視する方式とした。

キャンプ場での弁当昼食後、テント立て、グループタイム自炊、夜はキャンプファイヤ。翌日はユリノキ広場での遊びを中心に、午後はカミナリ橋周辺での川遊び。そして今年も振られました。ゲリラ豪雨で川遊び途中での大慌ての撤収。おまけにロッジの停電。にも関わらず頑張って玄関での夕食づくり。テントも豪雨で倒れたため、その後はやむなくやまね館に退避した。翌日もユリノキ広場を中心に過ごした。

今年の参加者内訳は OBOG 子弟 2 名、滋賀県一般参加 4 名、小鳩の家招待参加 3 名、水上隣保館招待参加 1 名であった。21 期ケロリさんの西淀川子どもセンターからはなし。

尚、例年7月初めにプレキャンプを大阪にて行っていたが今年より取りやめた。

④ くつきわんぱくキャンプ「わんぱくたんけんたい～くつきの森の宝探し～」・主催

8月18日～19日・1泊2日、滋賀県・くつきの森・自然研修センター、
小1～小3・17人(男9人、女8人)、(参考；参加費¥8,000_)
組織：現役生 Co. 4人 Dir. 2人 St. 12人

キャンプ長 竹森大祐、SCD [REDACTED]、OBOG St. 7人

内容：ねらいは、「①初めてのことに自分の意志でチャレンジできる ②くつきの大自然の中で仲間と協力し、達成感を得る」 テーマソングは「わんぱくたんけんたいのうた」 昨年に続き2回目の新しいキャンプ。PDげっぺいを隊長とする探検隊で宝探しをするという想定の下、いろんな新しい経験にチャレンジした。昼ごはんを済ませてやまね館に集合し、保護者と別れてロッジへ移動。川遊び&魚つかみ、そして初めての自炊では自分たちで捕まえた魚を塩焼きにして食べた。そして恐ろしい夜の宝探しではいろんな怪物に立ち向かい宝をゲット。キャンプファイヤーを楽しんで、初めてのテント泊。翌日朝ご飯では生オレンジジュースを自分たちで絞った。

宝探しハイイクでユリノキ広場まで行き、宝物を使つての宝箱づくりにキャンプバッグへのペインティングを行った。

今年の参加者内訳は OBOG 子弟 1 名、滋賀県一般参加 10 名、豊中のグーテン子ども食堂招待参加 3 名、朽木の地元小からの招待参加 3 (朽木西小 2、朽木東小 1) 名であった。

⑤ ファミリーキャンプ「育てよう アサヒの種」・主催

9月22日～23日・1泊2日、滋賀県・くつきの森・自然研修センター、
OBOG及びそのファミリーと招待ファミリー56名
組織：現役生 Dir. 2人 St. 14人

キャンプ長 石田 博和、SCD [REDACTED]、[REDACTED]、GM 竹森大祐、事務局 畑 寿一郎

内容：子供たちが楽しみにしている『魚つかみ』を復活させた。子供たちは魚を追いかけてワイワイと楽しんでた。夕食会では花をテーマに花型餃子、花を散らしたちらし寿司、『鮎の塩焼き』やBBQに加えて、デザートに『噴水フルーツポンチ』をした。容器の真ん中にサイダーを置き、その中にメントスを入れると炭酸水が噴水の様に溢れ出し大変盛り上がった。キャンプファイヤーでは『ぶくぶく大学』や『鬼のパンツ』などのアサヒの伝統のゲームをOBOGと現役生がコラボして大変盛り上がる事が出来た。

翌日の朝食には地元朽木のパン屋から取り寄せた出来立ての『手作りパン』を美味しく頂いた。次に大人から子供まで一緒に楽しんだ運動会』では『障害物競走』や『綱引き』などをして、くつきの森のシンボル『ゆりの木』広場で心地よく体を動かす事が出来た。招待で参加された「子供食堂」の2家族にもプログラムを楽しんでもらえたようである。

秋の深まりを感じる朽木で大勢のOBOGと現役生がキャンプを楽しむ事が出来た。

⑥ 次世代リーダーズキャンプ・(次世代リーダーズキャンプ実行委員会主催

株式会社 VALCREATION 共催)・協力

9月29日～30日・1泊2日、三重県・志摩市鵜方 クインテッサ伊勢志摩
社会人43人、(参考；参加費¥54,000_宿泊費含まず)、講師陣入れて総勢60人
組織：実行委員長 竹岡 哲朗

内容：次世代を担うリーダーとしての基礎的素養を身につける事を目指すプログラムを実施し、基調セミナーを新将命先生蒲俊郎先生にお願いし、各々「王道経営」「コンプライアンス経営の真髓」について講義いただき、参加者でのグループワークで深掘りいただいた。

加えて「地方創生」「100年経営」のテーマを設定して、地元志摩市の竹内市長、内閣府地方創生事務局高橋審議官等多彩な講師陣による特別セミナーも実現した。あいにく、台風24号の影響で近鉄志摩線の不通、新幹線の計画運休もあり、プログラムを短縮して2日目朝のプログラムで解散としたが、1日目は懇親会后、深夜までグループワークを参加者が自主的に実施する等濃密なキャンプとなった。

今年はエコロジーカフェの紹介も加え、自然保護活動への理解をも促すプログラムとした。現役カウンセラーげっぺいがアサヒキャンプの紹介を行い、社会貢献活動への理解を促すことができた。

参加者にはアサヒキャンプの賛助会員になってもらい、収益金を寄付いただくこととしている。課題としては、昨年の次世代リーダーズキャンプに参加し賛助会員になった方々の会員継続が無かったことで、PR活動含め会員獲得への注力が必要である。

10/1には伊勢神宮に特別拝観し、日本の心の故郷に触れて帰任した。

参加者からも、台風の影響がでたにも関わらず好評で、来年の開催も検討していくこととしている。

⑦ 自閉症児キャンプ (のびのびキャンプ)

(大阪府青少年活動財団、関西テレビ青少年育成事業団、アサヒキャンプ共催)・共催

10月6日～7日・1泊2日、奈良県・吉野宮滝自然学校

(プレキャンプ 9/17 14:00～15:30 於：関西テレビ)

小3～中3・9人(男子7人、女子2人)。

組織：アサヒより PL 1人、PaCo. 3人、St. 3人 財団より ML 1人、PaCo. 3人、St. 3人
関テレより PaCo. 3人、St. 1人

キャンプ長 ■■■■■、SV 石巻(関テレ)、ACD 松原(財団)、PD 竹森大祐、MD 西口(財団)

内容：本キャンプは自閉症児を対象とし、パーソナルカウンセラーがキャンパーをマンツーマンで支援する。昨年度に日程を夏→秋に変更し、今年度は日程を2泊→1泊に変更するとともに参加費を¥36,000→¥15,000に下げた。前者は、3連休のすべてをキャンプで使うと翌日からの日常生活に支障が出るので、という保護者からの要望、後者は日程短縮と公益事業のキャンプであるという位置づけから更に参加しやすくなるようにとの配慮。

リピーターが6名で、新規が3名、年齢、性別をもとに3グループに分けて取り組んだ。

初日は午前集合で関テレ前よりバスに乗り、吉野に昼前に到着。昼食後、近くの桜木神社に水遊びを兼ねた自然散策。通り雨に見舞われたが元気に川で宝探しを行った。夕ご飯は自分たちで切った野菜を投入したカレーライスを食べ、食後の手持ち花火を楽しんだ。2日目はミニクッキングでハムなどを焼いて朝食。お土産づくり（宝箱）をして、今年はどうん作りから変更で、ハム・チーズを入れたパンを作ってダッチオーブンで焼いた。台風が日本海側を通過しているということもあり、不安定な天候でやや蒸し暑かった。

1泊に変更となり、プログラムのバリエーションが少なくなり、パーソナルと子どもたちが触れ合う時間が短くなるのでやや消化不良になった面は否めない。しかし、運営サイドも参加者側も負担が少なくなることは事実であるため、来年以降もこの形態は継続すると思われる。

このキャンプは1Cas.に1Co.というものであり、子供に対して密接に支援するという点では他に類をみない。ゆえにお互いの理解や経験、日常ではできなかったのにできるようになったことなどが子どもたちにもカウンセラーにも、そして保護者にも与える影響は非常に大きい。

⑧ シニアキャンプ「～いつまでも遊びどころ・子どもころ～」・主催

11月10日～11日・1泊2日、滋賀県・高島市グリーンパーク思い出の森（てんくう温泉）

60歳以上のシニア世代 21名(男性14人 女性7人) 参加費 15,000円

内容：キャッチコピー(シニアになっても友達100人できるかな?)

60才から始まる人生の新たなステージを豊かにするためのきっかけとし、シニア世代の余暇活動が新たな社会参加・社会貢献につながるモデルケースとすることを狙いとした。

*プログラム

キャンドルファイア、アサキャン小学校、懇親会、朝のお茶会、自然散策、温泉、BBQ等

*参加者の感想

「シニアになっても友達100人作れそう!」「自然と笑顔、自分の立ち位置を確認できた。」「シニアパワー。シニアに突入するのが恐ろしくなくなった。」等、ポジティブな感想が多く見られた。

*今後に向けて

シニア層におけるキャンプの価値、つまり企業人から社会人に健康的に戻るシニアの社会的要請に応えることができる事を確認できた。また、プログラム運営面ではアサヒキャンプの蓄積を生かすことができるかと再確認できた。

次回の開催に向け、実行委員会に参加者にも入ってもらい、魅力的なシニアキャンプを共に作り上げていけるように取り組んでいる。ボランティア活動として、参加者自身が作り上げていくと共に、収益金をアサヒキャンプ活動への支援金として活用していく。

⑨ YAMA キャンプ・主催

5/3-5、6/9-10、7/14-16、7/21-22、10/13-14

くつきの森・自然研修センター 5歳～中3、延べ参加者25人

組織：キャンプ長 竹森大祐、チーフOBOG しゃもじ、腹ペコ、ゼブラ、

内容：今年度で4年目を迎えた。OBOGチーフは一新し、昨年度に卒業したメンバーがメインで務めた。参加者からの評判や運営に問題はなく、ワーキャンに参加してくれるOBOGさんの子弟の受け入れという面でも継続していきたいキャンプである。

しかし、現役生が担当できないジレンマ(トレキャンを運営しないといけない)やグループリーダーとなるOBOGの人材不足などの問題は常に抱えているが、地元招待とリンクできる可能性があるキャンプであるため、検討は継続していく必要がある。

⑩ SORA ウィンターキャンプ(特定非営利活動法人ナック主催)・協力

・クリスマスコース

12月23日～24日・1泊2日、四條畷市立野外活動センター。小1～小6 39人
アサヒより4名派遣

・フォトロゲイニングコース

12月26日～27日・1泊2日、四條畷市立野外活動センター。小1～小6 24人
アサヒより4名派遣

・お正月コース

1月5日～6日・1泊2日、四條畷市立野外活動センター。小1～小6 20人
アサヒより6名派遣

クリスマスコース内容：(カウンセラー感想文より) Cas39人、Co5人、St2人、職員1人、医療 St1人で
ケーキデコレーション、アウトドアクッキング、まつぼっくりクリスマスツリー作りなどクリスマスならではのプロ
グラムを一泊二日で行いました。

Casが女の子の方が多かったですがケーキのデコレーションやまつぼっくりのクリスマスツリー作りでは男の
子も女の子に負けないぐらいのデコレーションや飾り付けが出来ていて男の子、女の子共に楽しめていまし
た。後はこのキャンプを通してはじめてのお友達のこれが得意などお友達の良いところを見つけるなど仲良く
協力することの大切さを改めて感じる事が出来ました。

⑪ SORA スプリングキャンプ (特定非営利活動法人ナック主催)・協力

3月25日～26日・1泊2日、四條畷市立野外活動センター。小1～小6
アサヒより5名派遣

・お泊りキャンプ

3月29日～30日・1泊2日、四條畷市立野外活動センター。未就学児 (年長クラス)
アサヒより3名派遣

6. カウンセラーの養成関係事業

内容①勉強会、研修

場所：大阪府中央区 南星ビル9階,2階会議室

4月8日(日)、4月14日(土)、5月13日(日)、5月19日(土)、6月24日(日)、6月30日(土)、
7月1日(日)、7月8日(日)、12月15日(土)、1月26日(土)、2月16日(土)、3月10日(日)、

場所：四條畷野外活動センター

3月2～3日(土、日) 実践講習会

②トレーニングキャンプ

場所：滋賀県高島市 くつきの森自然研修センター

5月3～5日、6月9～10日、7月14～16日、10月13～14日

③ファイナルキャンプ

場所：滋賀県高島市 くつきの森自然研修センター

10月27～28日

以上。

2018年度(第13期)活動計算書

2018年4月1日 ~ 2019年3月31日

(単位:円)

科 目	2018年度(第13期)決算金額(参考)	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	820,000	
賛助会員受取会費	411,000	
		1,231,000
2. 受取寄付金		
一般寄付金	443,900	
マーケテント寄付	68,000	
朽木特別募金	7,000	
ワークキャンプ寄付金	12,103	
次世代リーダーズキャンプ	75,353	
資産受贈益	0	
施設等受入評価益	0	606,356
3. 受取助成金等		
受取民間助成金	200,000	
受取国庫補助金	0	200,000
4. 事業収益		
ワークキャンプ	309,500	
ファミリーキャンプ	439,800	
YAMAキャンプ	71,100	
ネイチャーキッズキャンプ	174,000	
わんぱくキャンプ (デイキャンプ)	¥139,600	
森の子キャンプ	99,450	
イベント参加		
SORAキャンプ	49,000	
シニアキャンプ	350,501	
		1,632,951
5. その他収益		
受取利息	3	
雑収益	119,000	
		119,003
経常収益計		3,789,310
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
諸謝金	32,274	
人件費計		32,274
(2) その他経費		
旅費交通費	1,311,270	
通信費	38,589	
研修費	25,184	
保険料	59,389	
消耗品費	228,653	
支払手数料	46,548	
施設利用料	784,900	
食糧費	539,918	
被服費	186,430	
印刷製本費	43,018	
社外連絡費	5,800	
招待補助金	194,190	
雑費		
その他経費計		3,463,889
事業費計		3,496,163
2. 管理費		
(1) 人件費		
給与手当	120,000	
人件費計		120,000
(2) その他経費		
旅費交通費	32,310	
通信費	53,065	
会議費	129,500	
賃借料	110,000	
消耗品費	5,156	
租税公課	51,050	
事務用品費	8,286	
支払手数料	944	
諸会費	15,000	
食糧費	2,929	
印刷製本費	75,828	
社外連絡費	0	
雑費	10,451	
その他経費計		494,519
管理費計		614,519
経常費用計		4,110,682
当期正味財産増減額		△ 321,372
前期繰越正味財産額		2,300,756
次期繰越正味財産額		1,979,384

2018年度 活動計算書(詳細)

事業年度：2018年4月1日～2019年3月31日

(単位：円)

管理部門	総会 理事費	育成費 (補助費)	育成費 (トレキャン)	育成費 (フアナル)	YAMA	ワーキャン	キイチヤ	わんぱく	森の子	のびのび	SORA	ファミリー	シニア	くつぎ整備	次世代	総計
	1,331,756	-16,372	-433,451	-141,154	7,126	-144,530	-383,932	-128,285	4,371	-18,740	26,300	-60,925	58,079	-144,485	174,863	-321,372
受取金																1,231,000
正会局会費	820,000															820,000
賛助会費	279,000												18,000		114,000	411,000
受取寄付金																600,366
一服寄付金	443,900															443,900
マーキーテント寄付	68,000													7,000		68,000
朽木特別募金																7,000
ワークキャンプ寄付						12,103										12,103
次世代リーダーズ寄付															75,363	75,363
受取助成金等																200,000
助成金	200,000															200,000
事業収益																1,632,951
事業収益					71,100	309,500	102,000	91,600	99,450		49,000	372,300	360,501			1,445,451
内訳補助金							72,000	48,000				67,500				187,500
その他収益																119,003
受取利息	3															3
雑収益		119,000														119,000
収益	1,810,903	119,000	0	0	71,100	321,603	174,000	139,600	99,450	0	49,000	439,800	368,501	7,000	189,553	3,789,310
事業費																3,465,163
経費																3,465,163
経費																32,274
経費																1,311,270
経費																36,589
経費																25,184
経費																0
経費																59,369
経費																228,693
経費																0
経費																46,548
経費																784,900
経費																539,919
経費																186,430
経費																43,019
経費																5,800
経費																194,190
経費																614,519
経費																120,000
経費																32,310
経費																53,065
経費																129,500
経費																110,000
経費																5,156
経費																51,050
経費																8,286
経費																944
経費																15,000
経費																2,929
経費																75,828
経費																0
経費																10,451
費用	479,147	135,372	433,451	141,154	63,974	468,133	557,932	267,885	95,079	18,740	22,700	500,725	310,422	151,485	14,470	4,110,882

財産目録
2019年3月31日現在

(単位:円)

科目・摘要	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	738		
ゆうちょ銀行	1,597,353		
UFJ銀行	421,641		
未収入金	32,940		
流動資産合計		2,052,672	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			2,052,672
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	59,014		
前受金	12,000		
預り金	2,274		
流動負債合計		73,288	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			73,288
正味財産			1,979,384

貸借対照表
2019年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,019,732		
未収入金	32,940		
流動資産合計		2,052,672	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			2,052,672
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	59,014		
前受金	12,000		
預り金	2,274		
流動負債合計		73,288	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			73,288
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		2,300,756	
当期正味財産増減額		△ 321,372	
正味財産合計			1,979,384
負債及び正味財産合計			2,052,672

経理伝票、帳簿、残高証明など照合し、相違ないことを証明します。

監事 大西 良和

監事 東野 雅夫